

Ⅵ 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目 (該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	演劇
----	----	----	----

申請区分 (申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の有無 (該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	無
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制 (該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんがいしや せいねんげきじょう 有限会社青年劇場		
代表者職・氏名	代表取締役 福島明夫		
制作団体所在地	〒 160-0022		
	東京都新宿区新宿2-9-20 問川ビル4階		
電話番号	03-3352-6990	FAX番号	03-3352-9418
ふりがな 公演団体名	あきたうじゃく・ひじかたよしきねん せいねんげきじょう 秋田雨雀・土方与志記念青年劇場		
代表者職・氏名	代表 福島明夫		
公演団体所在地	〒 160-0022		
	東京都新宿区新宿2-9-20 問川ビル4		
制作団体 設立年月	1964年 2月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 福島明夫 取締役 葛西和雄	劇団構成員 劇団員64名/準劇団員7名 /研究生5名/団友/24名	
事務体制の担当	専任	本事業担当者名	白木匡子
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	本田陽子

制作団体沿革	1964年日本新劇界のパイオニア、秋田雨雀と土方与志に戦後教えを受けた俳優・演出家が中心となって結成、今年創立57年を迎えます。創立以来劇団制に基くアンサンブルの重視、アクチャルな演劇創造を特徴とし、日本近現代劇、海外の作品などを意欲的に上演してきました。 又、劇団活動の一つの柱として青少年のための優れた演劇の創造を追求、年間100回程度の学校公演公演や子ども劇場での公演を続けてきております。 この間、文化庁芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)・日本芸術文化振興会(日本劇団協議会主催事業・高校生のための巡回公演)・文化庁(文化芸術による子供育成総合事業)に採択されています。			
学校等における公演実績	創立から青少年の為の公演を劇団活動の大きな柱として、北海道から沖縄まで、全国各地での公演を行ってきました。現在も年間1作品から2作品で全国の高等学校・中学校での公演を行っています。近年は高等学校での公演数が減少していく中、地域の方とも協力して、様々な公演の形を追及し、青少年のための公演充実に務めています。 文化庁・文化芸術による子供育成事業のA区分は「博士の愛した数式」「キュリー×キュリー」で平成19年～平成23年、平成25年・26年で、B区分は平成27年「博士の愛した数式」、平成29年「あの夏の絵」でそれぞれ採択されました。 文化庁以外の学校公演の実績 「オールライト」瀬戸山美咲＝作/藤井ごう＝演出 2015年～2019年189st 「野球部員、舞台に立つ!」福山啓子＝作/演出 2012年～2015年262st			
特別支援学校における公演実績	平成24年度本事業による「博士の愛した数式」で実施			
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有	
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有	
		※公開資料有の場合URL	https://gakko-kouen.seinengekijo.co.jp/work/anonatsunoe/	
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
		PW:		
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料		
		※公開資料有の場合URL		
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
		PW:		

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 秋田雨雀・土方与志記念青年劇場 】

対象		小学生(低学年)	○	中学生
	○	小学生(中学年)		
	○	小学生(高学年)		
企画名	あの夏の絵			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	「あの夏の絵」 作・演出/福山啓子 美術/石井強司 照明/河崎浩 選曲/堀沢宏幸 音響効果/石井隆 衣装/宮岡増枝 公演時間(120 分)			
著作権	○	制作団体が所有	制作団体以外が所有する 事項が含まれる	(制作団体以外が所有する 事項が含まれる場合) 許諾状況
演目概要	舞台は広島市内のとある私立高校。 美術部員のメグミは祖父母が入市被爆をしている被爆三世。美術部 顧問の岡田が持ち込んだ「被爆証言を聞いて絵に描く」取り組みに、迷いながらも参加 することを決める。東京から引っ越してきた同じ美術部員のナナは友達よりも絵を描くことが大好きで、漫研と兼部しているアツトが気に入らない。岡田の提案で被爆証言は三人で聞くことになり、証言者・白井の話聞きそれぞれに心を突き動かされるが…。広島市立基町高校創造表現コースの生徒たちが取り組んでいる実践をモデルに、2015年福山啓子の書き下ろし・演出で初演。その後全国各地での公演を行い、創造的にも高い評価を頂き2018年にはNHKBSプレミアムステージで放映されました。 本事業には2018年B区分、2021年A区分で採択されて公演を行ってきました。又、全国の高等学校での鑑賞教室や、子ども劇場、市民劇場での例会にも取り上げていただき、大人から子どもまで幅広い年代の皆さんに御覧いただいています。			
演目選択理由	被爆者の高齢化が進む中、被爆の継承をどのようにしていくのか大きな課題になってきています。そんな中、作者は広島市立基町高等学校での「原爆の絵」の取り組みに出会いました。約一年をかけて、創造を絶する被爆の実情を証言者から聞きとり、それを忠実に絵にしようと、悩み苦しみながらも必死に取り組んでいる高校生の姿は、出来上がる絵を見る事で、封印された記憶が呼び覚まされていく被爆者。世代を超えて「被爆の実証」に向き合うそれぞれの姿を通して「継承」という新しい形が生まれています。この取り組みを舞台化し、多くの皆様に御覧頂きたいと「あの夏の絵」は作られました。「核兵器禁止条約」が2021年採択されるなど、世界での平和に向けた動きが進んでいます。この作品を通じて「平和」「戦争」などの問題を、過去から未来にどのようにつなげていく事ができるのか、共に考えることができればと思います。			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	生徒さんには本編の始まる前の「ダビンチ先生とミケランジェロ君の絵画教室」というシーンに参加して頂きます。事前のワークショップで生徒さんに一つの「お題」を提示します。そのお題に対してイメージを膨らませ一つのシーンを身体を使って表現する「静止画」を作ります。本番ではその静止画を「ダビンチ先生とミケランジェロ君の絵画教室」の中で発表します。その静止画のタイトルを観客の生徒さんに当ててもらいます。その事で観客も見ただけでなく主体的に参加する事ができます。 本番はできるだけ生徒さんたちと劇団員が触れ合う時間を作ります。仕込み見学、バックステージ等、普段は観られないスタッフの仕事を通して、体育館が劇場に変わっていく様子を近くで体験できます。 終演後俳優さんを囲んで座談会を行い、お芝居の感想や、質問など俳優さんと交流する場を作ります。			
出演者	藤井美恵子/広戸聡/永田江里/藤代梓/傍島ひとみ/星野勇二/松田光寿/津曲海七斗			
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者： 8 名 スタッフ： 9 名 合 計： 17 名		機材等 運搬方法	積載量： 5.5 t 車 長： 9 m 台 数： 1 台

【公演団体名 秋田雨雀・土方与志記念青年劇場 】

実施に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間		5	時間程度
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	7時50分	8時～13時	13時30分～ 15時30分	なし分	16時～18時	18時30分
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。					
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ		最大100名			
	本公演		最大500名			
ワークショップ 実施形態及び内容	授業2コマの時間で行います。1コマ目は全体でのワークショップ、2コマ目は本番に参加する生徒さんの劇中劇のお稽古に使います。ワークショップの内容は、最初に劇団員のニックネームを大きな声で呼んでもらう事からはじめ、その後簡単なゲームを行います(後出しジャンケン・エアー大縄跳び・ハイタッチ合戦等)。後半はグループごとに「お題」(春夏秋冬・運動会・お月見等)に対し「静止画」をつくり、他のグループの人にお題の答えを当ててもらいます。					
ワークショップ 実施形態の意図	最初に講師の名前を大きな声で呼んでもらう事で緊張をほぐしながら、講師との距離を縮めて行きます。その後、ゲームで自分の身体を開放する事を体験し、その上で、グループ単位での「静止画」作りを行います。一人一人が想像し、それを他者と協力しながら一つの物に創り上げていく事を体験します。心と身体を自由にして表現する楽しさと、仲間と一緒に一つ一つのテーマを作り上げる充実感を感じてもらう事を目的としています。その経験が、本公演の鑑賞の充実につながることは勿論、それ以降も演劇などへの興味が深まっていく機会となります。					
特別支援学校での 実施における工夫点	事前の学校との打ち合わせで、丁寧に生徒さんの状況を把握することに勤めます。その上で、可能な限り上演形態は変えない形で実施を目指しますが、必要と判断した場合は休憩時間を設けたり、本番中の出入りがスムーズに行くような客席の設定等に配慮します。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

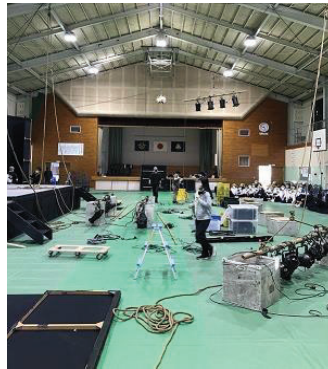
リンク先

No.2

【公演団体名 秋田雨雀・土方与志記念青年劇場 】

プログラム内容

・ 仕込み風景



仕込み見学



・ リハーサルの様子



「あの夏の絵」 舞台写真



座談会の様子



リンク先	No.3	【公演団体名 秋田雨雀・土方与志記念青年劇場 】
ワークショップの流れ	【ワークショップの流れ】 ・講師紹介  ・後出しジャンケン  ・エア縄跳び  ・静止画作りの様子  	

令和3年度
文化芸術による子供育成総合事業——巡回公演事業——

秋田雨雀・土方与志記念 青年劇場
演劇公演

あな夏の絵



福山啓子 = 作・演出

「文化芸術による子供育成総合事業」 ——巡回公演事業——

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに演技指導又は鑑賞指導を行います。また、公演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



「きみはいくざに征ったけれど」(撮影：鈴木ヨシアキ)

青年劇場はこんな劇団です

青年劇場は、1964年秋田雨雀と土方与志に戦後教えをうけた俳優・演出家8名を中心に結成されました。年間2～3回東京での定例公演と、青少年のための公演活動、演劇鑑賞会などでの全国公演を行っています。

公演活動以外には、演劇部や演劇授業への講師派遣も行っています。創立当時より付属養成所を開設、現在は所属俳優の半数以上が付属養成所の出身者です。

近年の上演作品は「星をかすめる風」(イ・ジョンミョン＝原作 シライケイタ＝脚本・演出)「キネマの神様」(原田マハ＝原作 高橋正樹＝脚本 藤井どう＝演出)など全国公演としては「きみはいくざに征ったけれど」(大西弘記＝作 関根信一＝演出)があります。



秋田雨雀 土方与志
〒160-0022 東京都新宿区新宿2-9-20 簡川ビル4F
TEL03-3352-6990 FAX03-3352-9418
info@seinengekijo.co.jp
http://www.seinengekijo.co.jp/

●国際音楽の日について●

知ってますか? ～ 10月1日は「国際音楽の日です」～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

え なつ あ の 夏 の 絵



撮影：宿谷誠

あらすじ

被爆者を祖父母にもつ浅野恵は、広島市内の高校1年生。美術部顧問の岡田路子がもちこんだ「被爆証言を聞いて絵に描く」という取り組みにまよいながらも参加すること。東京からひっこしてきた工藤奈々、父が自衛官という飯島篤人も美術部員ということで、じゅぶん一緒に被爆体験を聞くことになる。中学3年で、父親を探して入市被爆した目井勝利さんの証言に3人は心を突き動かされるが、ある日、奈々が学校に来なくなり…。

作・演出=福山啓子

美術 = 石井強司
照明 = 河崎浩
音響効果 = 石井隆
衣装 = 宮岡増枝
方言指導 = 寺田祐子
演出助手 = 清原達之
舞台監督 = 松橋秀幸
製作 = 広瀬公乃

キャスト



浅野恵
傍島ひとみ



工藤奈々
藤代梓



飯島篤人
津曲海七斗



白井勝利
広戸聡



浅野綾子
藤井美恵子



岡田路子
永田江里



ダヴィンチ先生
星野勇二



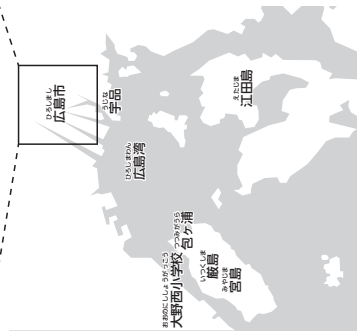
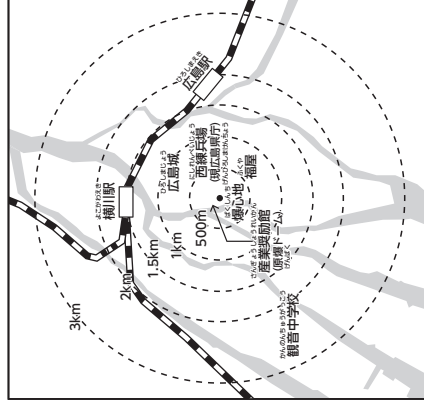
ミケランジェロ
松田光寿

作者から、みなさんへ

福山啓子

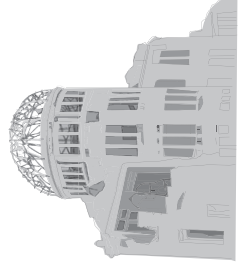
歴史や戦争のおはなしって、こわいな、うが、つまらないな、とか思いませんか？「もっと楽しいお話がいい」はい。でも、ちょっと待って。今の少年マンガとか、戦争や人が殺される物語がいっぱい。それも、簡単に悪者がやつと倒れる話ばかりではなく、何となくたかっているのかわからない、それだけにえこえこい話も。これは、マンガが今の世の中にある戦争やいじめや、貧しさや、いろいろなことを描くものになっている。今、世界のことを考える時、助けになるの

は、「言えなかったか」っていう。かわいそうなや、ひろばあさんの子どもの頃、何があったか。そのことが今もどっとながっているか。「自分はどこからきて、どこいくのか」を考える時、それはとても大切なこと。お話を聞いて、どんなことを感じたか、おもしろかったこと、かわかったこと、わからなかったこと、つまらなかったこと、みんなでなんとも話さなくていい。高校生が主人公だから、おもしろいところもたくさんあります！安心して。



1945年8月6日午前8時15分、人類初の原子爆弾が広島に投じられました。約35万人の市民のうち1945年までに約14万人の方が亡くなったといわれています。被害は熱線・爆風・放射線

線の3つで、原爆が投じられた後、15日までに、爆心地からおおむね2km以内に入った人は、残留放射線などで被曝したと考えられ「入市被爆」とされています。



【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	G94	分野	演劇	種目	演劇	ブロック	G	区分	A区分
公演団体名	秋田雨雀・土方与志記念 青年劇場				制作団体名	有限会社 青年劇場			

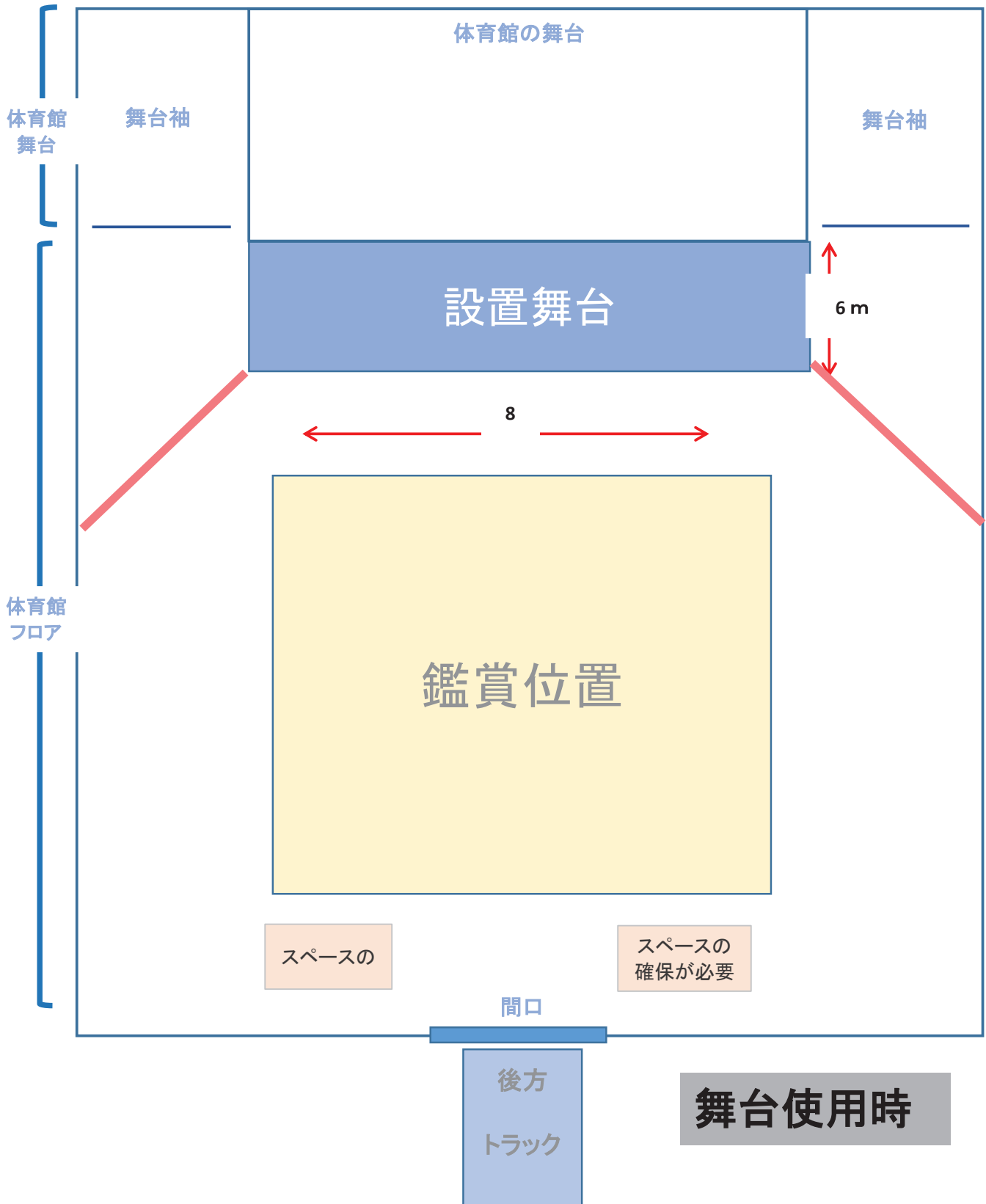
① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談	
控室について	必要数 *	2室	条件		16名入れる空教室希望。着替えができる別の部屋があれば助かります。			可	
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *			5.5tトラック	1台	大型バス	1台	可	
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細			学校周辺の道路状況により、トラックバスが侵入できない場合は、2tトラック2台に変更					
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			5.5トラック(幅2.4m 長さ9m 高さ3.6m)					
	搬入車両の横づけの要否 *			要				可	
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			10m以内				可	
	搬入経路の最低条件			特になし				—	
	理由			・体育館で横づけできなくて、搬入経路が長い場合は、仕込み時間を早める事で、対応します。 (2階の体育館も同様)					
	設置階の制限 *			問わない					
	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.8m		高さ	2m		可
WSIについて	参加可能人数		100名程度					可	
	学年の指定の有無 *	あり	指定学年 *	中学年		高学年		可	
	所要時間の目安 単位:分	90分程度(途中休憩あり)					可		
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。					
	鑑賞可能人数			フロアを使用する場合500人程度					可
	舞台設置場所 *			ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能				可	
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	8m	奥行	4m	高さ	指定なし	可	
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			要				可
		舞台袖スペースの条件 *			袖の広さは問わない。出入りができれば				可
		緞帳 *	不要		バトン *	不要		—	
	遮光(暗幕等)の要否 *		要	理由	演出効果を高めるため			可	
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			—	
		ピアノの事前調律 *		不要			—		
	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可			可		
	公演に必要な電源容量		100A	※主幹電源の必要容量			可		
	その他特記事項							応相談	

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	1.8m	高さ	2m
搬入車両の横づけの可否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	0	高さ	0
搬入車両の横づけの要否		0		
横づけができない場合の搬入可能距離		0		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

